

(様式1)

北海道美幌高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスchool宣言 PartⅡ)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和8年度に重点化する取組及び具体的方策		
5つのミッション 8つの行動計画		行動計画の中で重点化する取組	目標達成 期 間	具体的方策
Ⅰ グ ロー カル教育で 人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	(1)持続可能な農業に必要な知識と技術を習得させ、地域の教育力と産業界等と連携した実践的な学びの推進に努める。 (2)探究的な学びをとおり、地域農業を支える担い手育成。	B	(1)連携授業の回数を年間10回以上実施する。 (2)地域農業理解につながる学習の推進。
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	(1)海外農業研修、農業を通じた国際交流の推進を図る。	A	(1)海外研修への案内や情報提供の推進。美幌町の短期交換留学の利用率100%を目指す。
Ⅱ 地域社会・産業に 寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	(1)新しい農業技術を積極的に取り入れるなど即戦力となる農業者育成をする。 (2)関連団体、研究機関と連携し地域に貢献できるプロジェクト学習を行う。	A	(1)農業関連機関・専門機関との連携。GAPの取得推進。 (2)地域課題をテーマにしたプロジェクト学習の展開。
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	(1)地域農業理解に向けた研修や講演会を行う。 (2)「地域農業の縮図」としての学校農場を適切に運営し、地域理解を深めさせる。	B	(1)作物・畜産・食品製造など学習内容にリンクした講演会、視察研修を年間6回以上実施する。 (2)地域見本圃場として整備促進。
Ⅲ 地球環境を 守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	(1)環境保全型農業を推進し、持続可能な農業体系を具現化する。 (2)地域の未利用資源、副産物等の有効利用、有害生物に関する研究を深め、安定的な農業生産体系確立を目指す。	B	(1)みどりの食料戦略の実践・ウチダザリガニ駆除・活用方法の検討。 (2)地域の外来生物の有効活用、ゼロエミッションの取り組み推進。
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	(1)豊富なオホーツク資源の栽培を通して地域農業の理解を深める。 (2)地域資源の活用方法について食品加工等を通して学び、将来のオホーツク産業を担う人材を育てる。	B	(1)オホーツク特産の農産物の栽培飼育の推進と、それに関わる地域課題を把握した学習の展開。 (2)プロジェクト学習での地域資源の活用と新商品開発などこれからの地域に生きる研究活動の推進。
Ⅳ 地域交流の 拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	(1)学校農場を活用したスマート農業を推進する。 (2)ICTを用いて質の高い農業教育を行う。	B	(1)DX加速化推進事業を活用した環境整備と学習の推進。 (2)情報の取得や理解、処理を通じて農業生産に生かす力の習得。
Ⅴ 地域防災を 推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	(1)防災教育の推進を図る。 (2)地域防災における学校の役割を認識し、町の災害対策と併せて取り組みを検討する。	A	(1)防災教育、特に北海道における冬期防災教室の実施。 (2)町の防災マニュアル、ハザードマップと連動した学校の役割の明確化と行動マニュアル整備。